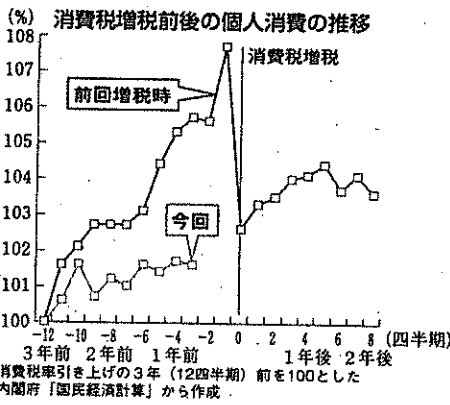


# 消費税増税多数は「反対」

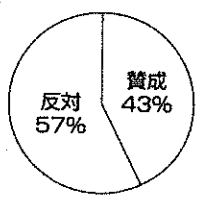


## 中止の世論、さらに大きく

**自民の議席減**

安倍首相は参院選の投票票目(テレビ番組で「消費税増税を掲げながら過半数を得るのは至難の業だ」といわれたが、おかげで国民の理解をいたした)と述べ、増税に国民のお墨付きを得たかのように振る舞っています。しかし、この

### 消費税増税「反対」が多数



参院選でのNHK出口調査  
消費税が10月に引き上げられることへの賛否

**庶民には未曾有の苦しみ**

立正大学客員教授・税理士・不公平な税制をたす会共同代表

**浦野広明**

10%への消費増税率引き上げを前に、食料品を中心に値上げが後を絶ちません。物価が上がっているのに、10%への引き上げは消費者の負担

「かなり重い」と指摘し、負担が大きいと指摘。安倍首相は「必要とあらば追加の対策を行う」としていますが、消費税増税を中止し、参院選で日本共産党が勝つ(三つの提案)①1日8時間の労働時間を確保する社会を②労働者を支える社会保障を築く③お金の心配なく子育てができる社会を④の4つを政府に迫るべきです。

**国会論戦で政権追いつめ**

消費税をなくす  
全国の会事務局長

**木口 力**

消費増税10%への増税を見越した便乗値上げが続く。家計を直撃しています。さらに安倍政権は入院給付金を1日6,000円増やし、年金支給額を切り下げ、医療・介護の

**個人消費低迷**

今の日本経済は消費増税に耐えられません。6月の消費動向調査では、消費者心理が9カ月連続で悪化。日銀短観では、企業の景況判断が期連続で悪化しています。

明治安田生命が発表している「夏に関するアンケート」



消費税増税ストップの宣伝に足をとめ、シール投票や署名をする人たちは6月24日、東京・新宿駅前

**外需も不透明**

高橋氏のレポートは設備投資について、伸びているものの、計画の下方修正幅が大きくなるなど、「変動の兆しが見られ、輸出を取り巻く環境は前回増税時よりりもかなり厳しい」としています。背景に企業収益の悪化と景気の先行き不透明

感の高まりがあります。輸出については、「中国をはじめとした世界経済の減速、グローバルな需要の減退を背景に弱い動きがある恐れがある」と懸念を打ちます。

海外経済は不振が続きます。中国の4~6月期のGDP(国内総生産)は統計開始以来最低となる実質0.2%増にとどまりました。米中貿易摩擦の影響

米中貿易摩擦は日本にも大きな影響を与えています。19年上期の工作機械受注総額は前年同期比で3割減。とりわけ中国向けは48.2%減となりました。

英国で欧州連合(EU)離脱強硬派のジョンソン首相が誕生。10月末には合衆の有無にかかわらずEUから離脱することになっています。国際経済に多大な影響を与えることには間違いありません。